

今号の
お題

ハイブリッドのお薦め設定と ストリングの緩みについて

一般的にハイブリッドとして多い組み合わせは、硬い素材のポリエステルと柔らかい素材のナイロンの組み合わせです。ハイブリッドにするメリットは、もともとポリだけを張っている人がポリの代わりに縦系、もしくは横系にナイロンを張ると、打感が少し柔らかくなり、ボールも

縦系は打感に影響する

Q
ハイブリッドに初挑戦したいのですが、お薦めの設定はありますか。

(テニス歴10年／40代男性)
※自称中級プレーヤー

楽に飛ばせるようになることです。反対に、もともとナイロンだけを張っている人が、ナイロンの代わりに縦系、もしくは横系にポリを張ると、それまでよりも打ち応えがしっかりして、ストリングの耐久性を上げることができます。

また、打感に一番影響しているのが縦系です。そこでポリのようなしっかりした打感を残したい場合は、縦系にポリを張る。逆にナイロンのような柔らかい打感を残したい場合は、縦系にナイロンを張ると良いでしょう。ぜひ、自分好みの打感になる組み合わせを見つけてみましょう！

ストリングの

From
テニサポ

第30回

基礎知識

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフ向上に役立ててください

今回の解説は…

小笠原爽太(テニスサポートセンター仙川店)

ストリンガー歴、店舗では6年、自宅で張っていた時期を合わせたら12年。現在は大前綾希子選手など、複数のプロ選手の張りを担当する。



硬いポリエステルと柔らかいナイロンを組み合わせるのが一般的だが、各々を縦横どのように張るかによっても特性が変わる

Q
張り替えて1〜2カ月すると、外側(上下左右)のストリングが緩んで指先で簡単にずれるようになります。こういうものですか？

(テニス歴3年／50代男性)

張りたてでも外側の糸は動く

ラケットに張っているストリングは、最後に張った外側の糸から緩んでいきますので、1〜2カ月ぐらいうると、外側の糸が指先で簡単に動くようになります。しかし、実は、張りたてのラケットでも外側の糸は内側の糸に比べると簡単に動きます。その理由ですが、外側の糸の場合、両側に糸が張られていないので、その分の抵抗がないからです。

しかし、張り替えたばかりなのに一番外側の糸が大きく緩んでいる場合



ラケット面の外側の糸は緩みやすいが、あまりにも緩みが大きい場合は、信頼できるお店に見てもらいたいだろう

ストリング 都市伝説

振動止めの大きさによって打感は変わるの？

大きく変わります。ストリングスに接している箇所によって、振動を吸収してくれる範囲が変わるので、振動止めの大きさが打感に影響します。小さい振動止めは振動を吸収する範囲が狭いぶん、適度な打感が残ります。一方、大きい振動止めは範囲が広いぶん、振動がかなり少なくなる代わりに、打感が少し鈍くなります。



市販されている振動止めには様々な形があるが、さてその性能は…

合、最後の糸を留める結び目を作る作業で、糸が緩んでしまった可能性がありま。気になるようでしたら、信頼できるお店やストリンガーに見てもらったほうがいいでしょう。

募集中

ストリングに関する質問を募集しています。年齢、性別、テニス歴を明記し、〒113-8448 東京都文京区本郷2-33-5 日本スポーツ企画出版社スマッシュ編集部「ストリング基礎知識」まで。質問が採用された方には、テニスサポートセンターより、ストリングをプレゼントします。